

青山学院大学

いなづみ ひろしげ
稲積 宏誠

青山学院大学学長



2023年12月15日をもって任期満了となった阪本浩前学長の後任として、稲積宏誠教授が、第20代青山学院大学学長に就任した。任期は2023年12月16日～2027年12月15日までの4年間。

稲積宏誠学長は早稲田大学理工学研究科を修了。1993年に青山学院大学理工学部助教授として着任。その後理工学部長、社会情報学部長、副学長を歴任。工学博士。クラウド・シャノンを起源とする情報理論から知識発見・獲得にかかわる諸分野の研究に取り組み、自然言語処理分野から日本語教育への展開を進めてきた。

理工学部長としては、理工学部が世田谷キャンパスから相模原キャンパスに移転した直後の各種整備や学科・大学院改組に携わった。社会情報学部長時代には、学部立ち上げとカリキュラム整備や学生の進路の定着に向けて尽力。また副学長としては、阪本前学長を支え、学務担当としてコロナ禍の授業運営の責任者を務めた。

学長として、急激な少子化による18歳人口激減を前に、多様性を保持しつつ研究・教育力によって選ばれる大学たれと再構築の基盤づくりを目指す。

同志社大学
同志社女子大学

こはら かつひろ
小原 克博

同志社大学学長



2024年4月1日付けで同志社大学第35代学長に就任した。任期は4年。1965年、大阪生まれ。同志社大学大学院神学研究科博士課程修了。博士（神学）。1996年、同志社大学神学部助手となり、2004年より同神学部教授、2020年4月～2024年3月、神学部長・神学研究科長。2015年より良心学研究センター長。日本学術振興会学術システム研究センター・プログラムオフィサー、宗教倫理学会会長、京都民医連中央病院倫理委員会委員長、京都・宗教系大学院連合議長等を歴任。

専門はキリスト教思想、宗

教倫理学、一神教研究。先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治およびビジネスとの関係、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論などに取り組む。神道および仏教等、日本の諸宗教とも長年向き合ってきた。同志社は2025年に創立150周年を迎える。新学長として、同志社150年の伝統に新たな活力を与え、創立200年までの次の50年に向けたビジョンを描き、さらなる発展を目指している。

獨協大学
獨協医科大学
姫路獨協大学

まえざわ ひろこ

前沢 浩子

獨協大学 学長



山路朝彦前学長の任期満了に伴い、4月1日付で前沢浩子教授が学長に就任した。

前沢新学長は1961年新潟県生まれ。1989年津田塾大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。東京医科歯科大学教養部助教授を経て、2006年獨協大学外国語学部助教授に就任。2011年教授となり、2020年から国際交流センター所長を4年間務めた。専門はイギリス文学。主な編著書は『生誕450年 シェイクスピアと名優たち』（NHK出版）、『じゃじゃ馬ならし』（大修館書店）。

獨協大学は1964年に創

立した4学部11学科を有する文科系総合大学。カント哲学者天野貞祐の「大学は学問を通じての人間形成の場である」を建学の理念としている。

情報技術によるメディア革命、AIの進化、民主主義への懐疑、資本主義の行き詰まりといった世界史の転換点にあって、新しい時代の「学問」のあり方を模索することは今日の大学の急務である。個人の幸福追求と社会の安寧を指し続ける意志を持つ市民の育成が、現在求められる「人間形成」であると認識している。創立60周年を機に、さらなる教育改革に努めていく。

城西大学
城西国際大学

ふじの ようぞう

藤野 陽三

学校法人城西大学 理事長
城西大学 学長



12月20日付で藤野陽三氏が学校法人城西大学の理事長に就任した。新理事長は1949年東京都生まれ。1972年東京大学工学部土木工学科卒業、1974年同大学工学系大学院修士課程（土木工学）修了、1976年ウォータールー大学（カナダ）博士課程修了を経て同大学博士研究員。その後東京大学地震研究所助手、筑波大学構造工学系助手・講師、東京大学工学部助教授、同大学教授を務める。2013年東京大学名誉教授、2014年横浜国立大学先端科学高等研究院上席特別教授、2020年同大学名誉教授、同年城西大学学長、

2022年城西短期大学学長に就任、いずれも現在に至る。1965年に水田三喜男によって創立された学校法人城西大学は、現在、埼玉県坂戸市、千葉県東金市、東京紀尾井町と首都圏横断的にキャンパスを展開しており、1万3000名を超える学生を擁する総合大学へと発展してきた。新理事長は、建学の精神「学問による人間形成」の達成を使命とし、教職員や他学生との交流、スポーツ、文化的活動、地域連携等を通じ、一人一人の学生に成長を実感してもらいたいと述べている。地域に貢献し、国際的な人材の育成を目指す。

明治大学

うえの まさお
上野 正雄

明治大学 学長



大六野耕作前学長の任期満了に伴い、4月1日付で上野正雄教授が学長に就任した。

上野新学長は1957年東京都生まれ。1980年明治大学法学部卒業。2003年裁判官から同大学法学部助教に転職。2004年から3年間、同大学法科大学院助教

授。2004年から5年間、東京弁護士会所属弁護士。2007年同大学法学部准教授を経て、2010年同学部教授となり、現在に至っている。同大学においては、副学長（広報担当）、学長室専門員長、法学部長等、要職を歴任している。

専門は刑事法（犯罪学、少

年法、犯罪者処遇法）。刑事事件、少年事件の裁判実務の経験を活かしながら、犯罪者・非行少年と社会の関わりについて、そのあるべき姿を模索している。

明治大学は、7年後の創立150周年に向けて、多様な「個」を磨き、自ら切り開く「前へ」の精神を堅持し、時代を変革していく人材を育成するため、「MEIJI VISION 150 | 前へ」を策定した。上野新学長の下でもこの実現に向けて、全学一体となって、教育、学生支援、研究、社会連携・社会貢献、大学経営における諸政策の一層の展開を期している。

明治学院大学

いまお まこと
今尾 真

明治学院大学 学長



村田玲音前学長の任期満了に伴い、2024年4月1日付で今尾真法学部教授が学長に就任した。任期は4年。

今尾学長は1965年群馬県生まれ。1990年法政大学法学部法律学科卒業、1993年早稲田大学大学院法学研究科博士前期課程修了、1997年同大学院博士後期課程単位取得退学。同年4月より明治学院大学法学部専任講師に就任。2006年に法学部教授に就任した。学生部長、法学部長、大学理事等を歴任。専門は民事法学。港区成年後見制度利用促進協議会会長や日本私法学会理事を務める。

明治学院大学は、宣教師

として来日したヘボン博士が1863年に開設した英学塾（ヘボン塾）を起源とし、2023年に創立160周年を迎えた。建学の精神である「キリスト教による人格教育」と学問の自由を基礎に、「Do for Others（他者への貢献）」を教育理念としている。2024年4月には、大学初の理系学部である情報数理学部を開設した。これにより、文理複合的な思考ができる人材の育成とともに、数字やデータでは見えてこない価値を問い、真の教養を修得する基礎力を培う学修者本位の学びのさらなる充実を、目指している。

大阪女学院大学

加藤 映子

かとう えいこ

大阪女学院大学 学長



加藤映子学長は、2012年度から大阪女学院出身の初の学長として務めている。大阪女学院短期大学を卒業後、国際社会教育団体で活躍し、

ボストン大学教育学部を経てハーバード大学教育大学院にて修士課程を修了。1998年から2001年にかけてフルブライト奨学生として同大学院博士課程で学び、2003年に博士号を取得した。

専門は言語習得で、最新の教育技術を活用した実践に取り組み、現在は、言語教育にAIをどのように活用するかを研究している。また、著書『ハーバードで学んだ最高の読み聞かせ』は韓国語版も現地

出版された。さらに、定期的に学長室アワーを開催して学生と交流を楽しみ、親しみを込めて「映子先生」と呼ばれることも多い。

大阪女学院大学は、「私を超える私に出会う」というキャッチフレーズのもと、キリスト教をベースとした教育機関として、学生の人格形成を重視した学習環境を提供。

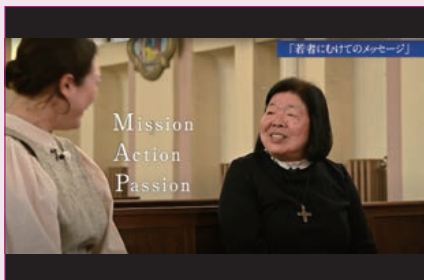
THE 日本大学ランキング2023で国際性全国3位にランクインし、英語で学ぶ専門課程や留学生との学びの場を提供するなど、ダイバーシティに富みインクルージョンを重んじる教育過程を展開している。



私大連Presents 学長インタビューシリーズ

学長 ときどき 私

YouTubeで
配信中!



私立大学の多様な個性を支える学長とは、
どのような人たちなのか。
その個性や素顔に迫ります。

神達 知純(かんだつちじゆん)

大正大学学長・仏教学部教授。大正大学大学院文学研究科博士課程単位取得後退学。博士(仏教学)。学長補佐、副学長等を経て、'23より現職。

八巻 和彦(やまきかずひこ)

西武文理大学学長。'76東京教育大学(現・筑波大学)大学院文学研究科博士課程中退。博士(文学)。早稲田大学等を経て、'22より現職。主著『クザーヌスの思索のプリズム』。

山下 京子(やましたきよこ)

広島女学院大学障がい学生高等教育支援室室長・人間生活学部特任教授。'98広島大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。臨床心理士。公認心理師。

中野 泰志(なかのやすし)

慶應義塾大学経済学部教授。博士(心理学)。国立特別支援教育総合研究所、東京大学先端科学技術研究センターを経て、'06より現職。

藤井 涉(ふじいわたる)

日本福祉大学社会福祉学部准教授。博士(人間福祉学)。社会福祉士。主著『障害とは何か 戦力ならざる者の戦争と福祉』、『ソーシャル

ワーカーのための反「優生学講座」など。

小沢 道紀(おざわみちのり)

立命館大学学生部部长・食マネジメント学部教授。'01立命館大学経営学部専任講師に着任。'23より現職。共編著『ドラッカー思想と現代経営』など。

音好 宏(おとよしひろ)

上智大学文学部教授。'90上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門はメディア論。主著『放送メディアの現代的展開』ほか。

野村 亮(のむらりょう)

早稲田大学データ科学センター教授。博士(工学)。

深谷 良治(ふかやりょうじ)

滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター長、教授。'89スタンフォード大学工学部Engineering-Economic Systems 修士Master of Science、NITT、NITデータを経て、'24より現職。

北村 行伸(きたむらゆきのぶ)

立正大学データサイエンス学部学部長。

オックスフォード大学大学院修了、D.Phil.(経済学)、一橋大学教授を経て、'21 4月より現職。主著に『パネルデータ分析』など。

大西 立顕(おおにしたかあき)

立教大学大学院人工知能科学研究科教授。'04東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。博士(科学)。東京大学准教授を経て、'20から現職。

陣崎 雅弘(じんざきまさひろ)

慶應義塾大学病院副病院長(医療DX、予防医療担当)、同大学医学部放射線科学(診断)教室教授。'87慶應義塾大学医学部卒業。'14より現職。専門画像診断、医療DX、機器開発。

加茂 雄亮(かもゆうすけ)

(株)ディー・エヌ・エーグループエグゼクティブ、データ統括部 統括部長。'13年同社に入社。'16年AI部門の立ち上げに参画後、現職。日本経済団体連合会AI活用戦略タスクフォース委員。

Sali Augustine(サリアガスティン)

上智学院理事長。'07上智大学外国語研究科修了。博士(地域研究・政治学)。上智大学学生総務担当副学長、総務担当理事等を経て、'23より現職。

村上芳秀（むらかみよしひで）

学校法人関西学院総務部総務課。

田中純平（たなかじゅんぺい）

神奈川大学社会連携部社会連携課長補佐。民間企業を経て、'14より神奈川大学入職。就職課、産官学連携推進課、社会連携センター設置準備室を経て、'21 4月より現職。

伊藤敬生（いとう たかお）

九州産業大学芸術学部ソーシャルデザイン学科教授。'21より現職。

高岡淳（たかおかじゅん）

学校法人関西大学常任理事、法人本部長。'88関西大学入職、'22より法人本部長。'16評議員を経て、'20より常任理事。

村田淳（むらたじゅん）

京都大学学生総合支援機構准教授・DR C（障害学生支援部門）チーフコーディネーター・HEAP（高等教育アクセスビリティプラットフォーム）ディレクター。

松川真美（まつかわまみ）

同志社大学理工学部教授、'22 4～'24 3同大工学チューデントダイバーシティ・アクセシ

ビリティ支援室長を兼務。専門は電気電子計測、特に超音波の計測応用。

渡邊蘭子（わたなべらんこ）

東北学院大学文学部総合人文学科講師。'20京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。'23同上修了。京都大学博士（文学）。'23より現職。

前野隆司（まえの たかし）

武蔵野大学ウエルビーイング学部長・教授、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授。'86東京工業大学理工学研究科修士課程修了。博士（工学）。

高石光一（たかいしこういち）

亜細亜大学経営学部経営学科教授。'10九州大学大学院人間環境学府行動システム専攻博士後期課程修了、博士（心理学）。中小企業事業団（現中小企業基盤整備機構）等を経て、'14より現職。

小林寛子（こばやしひろこ）

東海大学文理融合学部元教授・現客員教授。専門はエコツーリズム。豪州にてエコリゾートの開発・マーケティングに従事。主著『エコツーリズムってなに？』

山崎雅夫（やまざきまさお）

東京農業大学生物産業学部教授。'93東京農業大学大学院農学研究科農芸化学専攻（博士後期課程）修了。博士（農芸化学）、管理栄養士。'13より現職。

織田友理子（おだゆりこ）

'03創価大学経済学部卒業。在学中に遠位型ミオパチーの診断を受ける。'08患者会「PADM」設立。自身の経験を生かし、バリアフリー情報共有アプリ『Wheelog』の開発などを手掛ける。

川島葵（かわしまあおい）

上智大学文学部卒業。東海ラジオアナウンサーを経てフリーに。藤井聡太王位就位式や吉沢亮トークショー司会などで活躍。TBS Podcast 'Voicy'の番組も持つ。

（お断り）本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

『私立大学ガバナンス・コード【第2.0版】』
公開のお知らせ

『私立大学ガバナンス・コード』について、有識者による第三者チェック及び第229回総会での会員法人の承認を経て、【第2.0版】に改訂しました。

今回の改訂では、私立学校法改正に伴うガバナンス体制の変更に対応するとともに、社会から私立大学へ向けられる厳しい視線を憂慮し、改めて社会からの信頼獲得またその信頼を損なうことのないよう、私立大学に求められる点を再整理しました。さらに、私立学校法の改正内容に留まらない内部通報体制・危機管理体制の拡充といったガバナンスが機能するための施策の強化も取り入れています。

なお、【第2.0版】は改正された私立学校法を前提としたものですので、同法が施行される令和7年度以降より使用することを想定しています。

▼『私立大学ガバナンス・コード【第2.0版】』及び各会員法人のコード遵守状況については、私大連Webサイトよりご覧いただけます。

<https://www.shidaiaren.or.jp/members/governance/>



会長の動き

- 3月5日(火) 第12回常務理事会、記者懇談会に出席
- 3月11日(月) 文教関係国会議員あいさつ回り
- 3月19日(火) 第10回理事会、第3回総会に出席
- 3月28日(木) 日本私立大学団体連合会第128回役員会・第93回総会に出席
- 4月9日(火) 第1回常務理事会、第1回理事会に出席



加盟大学学長インタビュー動画
「学長ときどき私」を公開

この動画は、私大連会員大学の学長にフォーカスし、学長としてのお仕事、研究者としての活動、プライベートの過ごし方などをお伺いし、学長の魅力を伝えることを通じて、私立大学での多様な学びや学ぶことの楽しさなど、私立大学の魅力を視聴者にお届けしています。

また、「二問一答編」では、より学長の皆様の素顔に迫る質問にお答えいただきます。

ています。

令和6年度も新たな動画を公開していく予定ですので、ぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/playlist?list=PLXbCoVKSQota1R1eJ5Na3BL25aCdVsh1T>



報告書「オンラインを活用した
大学教育の現状と深化・拡充」を刊行

総合政策センタープロジェクトでは、『オンラインを活用した大学教育の現状と深化・拡充』を刊行しました。

コロナが収束するに伴い、大学は対面を中心とした授業に回帰しつつありますが、その一方で、私立大学は対面授業のみではなれない、学生の学びを一層進化させるオンライン教育の可能性を模索しています。報告書では、オンライン授業の課題として挙げられる双方向性の確保や

質保証、評価方法、学内体制の整備等について考察するとともに、「対面」「オンライン」「オンデマンド」などの「組み合わせ」により、いかに新しい学びをデザインできるか、その可能性をモデルケース（15事例）とともに提示しました。

https://www.shidaiaren.or.jp/topics_details/id=4151

オンラインを活用した
大学教育の
現状と深化・拡充

Teaching Learning Assessment Curriculum Support

一般財団法人私立大学連盟
総合調査センタープロジェクト
令和6年度24年度3月

2つのプロジェクトの中間報告を公表

私大連では令和5年度に「理工系分野の充実・推進プロジェクト」並びに「文理横断教育の推進検討プロジェクト」を立ち上げ、検討を進めてきました。令和5年度においては中間報告をとりまとめ公表しました。

今後さらなる検討を進め、令和6年度に最終報告（提言）をとりまとめます。

「私立大学理工農系分野の量的・質的充実に向けた展望と課題」中間報告（検討経過まとめ）

https://www.shidaiaren.or.jp/topics_details/id=4131

文理横断教育の実践と推進（中間報告）

https://www.shidaiaren.or.jp/topics_details/id=4135



開催報告

● 3月5日(火)

記者懇談会「大学院におけるリカレント教育と私立大学を巡る諸課題について」

● 3月25日(月)

寄附行為変更に関する情報交換会



各資料は、左記の私大連Webサイトをご覧ください。



<https://www.shidaiaren.or.jp/>

座談会 「時代の変化に挑む大学職員像」

特集 「共同学習空間「ラーニングコモンズ」の今」

小特集 「大学の研究力促進に向けた学内環境整備の取り組み」

だいがくのたから 大阪医科薬科大学

大学点描 関西学院大学

クローズアップ・インタビュー 森下 典子さん(エッセイスト)

編集後記

◆ 昨今、目にしない日がないくらいデータサイエンスやAIは人気のある強いワードだ。しかし、聞いたことがある程度で、その内容や現在地を理解している人は、あまり多くないかもしれない。

今号の特集では「数理、データサイエンス、AI」に焦点を当てており、学部教育、特化した大学院、全学プログラムと大学間連携、医療やスポーツ領域での活用などバラエティに富んだ構成になった。特に医療分野での活用では、高度医療への展開という夢のあるドキュメンタリーをメディアが放送する一方、実装段階では解決しなければならぬ課題も多いことを理解した。生成AIなども今後、人類が上手に付き合っていくためには法整備が必要であろう。AIという言葉が生まれて68年、その間ブームと冬の時代を繰り返してきた。東京大学の松尾豊教授は、ChatGPTに沸いた昨年に「第四次AIブーム」へ入ったと指摘している。ブームであるうちに実装が進んでいくことを願いたい。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・明治大学経営企画部広報課長野見山智道〉

◆ コロナ禍に、あらゆるところで目にしたパーティーションは、感染症法上の5類移行を機に、目にする機会が少なくなっていた。大学でも教室や学生食堂に設置されていたパーティーションが撤去され、コロナ前と変わらぬ日常に戻ってきたと感じている方も多いことだろう。

しかし、あの大量のパーティーションはどこに行っただのか、疑問に思っている方も少なくないのではないだろうか。本小特集では各大学で設置していたパーティーションがどのように活用されているのかを共有することを目的に企画した。各大学での取り組みをご覧いただくと、単にリサイクルをするだけでなく、学生をはじめとした関係者の学びにつなげる点が素晴らしいと感じていただけないのではないだろうか。今回の事例共有を通して、不要と思われるものが、学びの付加価値をつけて新たに活用される可能性があることを考えるきっかけになれば幸いである。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・法政大学多摩事務部多摩事務課課長須藤智徳〉

◆ デザインを一新した新たな「大学時報」―表紙は羅針盤を模し、本誌が時代の波の中で方向性を示すガイドたらんことを示している。

新たな出発となる本号座談会は、私立大学におけるいわゆる合理的配慮の義務化をテーマに開催、インタビューでは織田友理子さんのお話を伺う機会を得た。障害学生への支援という表現の中には、支援を要する学生の数だけ支援の形があり、対象となる学生の増加と共にその内容も多様化していることを実感する。ICT等の活用が広がる中、情報共有、コミュニケーション、人材育成等が重要な指摘は、織田さんの取り組みにも共通するものを感じる。そして、織田さんの信念を持って行動する姿は、学ぶことから得たものが知識だけではないことを強く感じる時間でもあった。「人間にとって、学び続け、人生をアップグレードしていくことは大きな喜び」―新たな春を迎えたいま、織田さんの言葉が思い起こされる。大学はいつの時代も、その喜びを生み出す場でありたい。〈日本私立大学連盟事務局加賀崎奈美〉

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (120大学 令和6年5月20日現在)

愛知大学
亜細亜大学
青山学院大学
跡見学園女子大学
梅花女子大学
文教大学
筑紫女学院大学
中京大学
中央大学
大東文化大学
獨協大学 }
獨協医科大学 }
姫路獨協大学 }
同志社大学 }
同志社女子大学 }
フェリス女学院大学
福岡大学
福岡女学院大学 }
福岡女学院看護大学 }
学習院大学 }
学習院女子大学 }
白鷗大学
阪南大学
広島女学院大学
広島修道大学
法政大学
実践女子大学
上智大学
城西大学 }
城西国際大学 }
順天堂大学
金沢星稜大学

関西大学
関西学院大学
関東学園大学
関東学院大学
慶應義塾大学
敬和学園大学
神戸女学院大学
皇學館大学
國學院大學
国際武道大学
国際基督教大学
駒澤大学
甲南大学
久留米大学
共立女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都橘大学
九州産業大学
松山大学
松山東雲女子大学
明治大学
明治学院大学
宮城学院女子大学
桃山学院大学 }
桃山学院教育大学 }
武蔵大学
武蔵野大学
武蔵野美術大学
名古屋学院大学
南山大学
日本大学

日本女子大学
ノートルダム清心女子大学
大阪学院大学
大阪医科薬科大学
大阪女学院大学
大谷大学
追手門学院大学
立教大学
立正大学
立命館大学 }
立命館アジア太平洋大学 }
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
西武文理大学
聖学院大学
成城大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
西南学院大学
聖路加国際大学
清泉女子大学
聖心女子大学
専修大学 }
石巻専修大学 }
芝浦工業大学
白百合女子大学 }
仙台白百合女子大学 }
昭和女子大学
創価大学
園田学園女子大学
大正大学

拓殖大学
天理大学
東邦大学
東北学院大学
東北公益文科大学
東海大学
常磐大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京経済大学
東京国際大学
東京農業大学 }
東京情報大学 }
東京歯科大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
東洋学園大学
豊田工業大学
津田塾大学
和光大学
早稲田大学
山梨英和大学
四日市大学 }
四日市看護医療大学 }

大学時報 University Current Review

2024/5月号

第73巻416号(通巻429号)

令和6年5月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 森康俊(関西学院大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1
住友不動産虎ノ門タワー20階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
中山映(上智大学学事局学事センター事務長)
玉村まゆか(関西大学総合企画室広報課課長)
中谷良規(関西学院広報部企画広報課課長)
河越英代(慶應義塾広報室課長)
野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)
大野百合子(立教学院総長室渉外課課長補佐)
立岩健一(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学ブランディングセンター長、広報部部长)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)
小泉邦人(早稲田大学エクステンションセンター事務局長兼社会人教育事業室課長)
齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

